

安全データシート

改訂日:2023年12月19日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称
推奨用途
会社名
住所
電話番号

でんぶん(溶性)
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
DD0365

整理番号

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
GHSラベル要素
絵表示又はシンボル
注意喚起語
危険有害性情報
注意書き
他の危険有害性

分類の基準に該当しない

なし
なし
なし
なし
粉末や顆粒状で空気と混合すると、粉塵爆発の可能性がある。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号
官報公示整理番号(化審法・安衛法)
その他

化学物質
でんぶん
 $(C_6H_{10}O_5)_n$
CAS RN 9005-84-9
(8)-98, (8)-99
HSコード:3505.10

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲込んだ場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。
多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師の診断を受けること。
口をすすぐこと。
直ちに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の特有の危険有害性
特有の消火方法

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

水噴霧、二酸化炭素、粉末、泡、砂
情報なし
火災時に、刺激性あるいは有毒なフェームやガスを放出する。
消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火作業の際は、適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材
二次災害の防止策

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
粉塵の立たない方法で出来るだけ掃き集め、空容器等に回収する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

安全取扱い注意事項

密閉系、粉塵防爆型電気設備および照明。
取扱いについては、局所排気装置または全体換気装置を使用する。
吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵を発生させない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。

粉塵の堆積を防ぐ。

強酸化物質

取り扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

接触回避
衛生対策

保管

安全な保管条件
安全な容器包装材料

直射日光を避けて、換気のよい涼しい場所に保管する。
ポリプロピレン

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度
日本産業衛生学会
ACGIH

未設定

未設定

TWA 10mg/m³

設備対策

取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具
手の保護具
眼、顔面の保護具
皮膚及び身体の保護具

防塵マスクまたは簡易防塵マスクを着用する。
ゴム手袋を着用する。
ゴーグル/顔面シールドを着用する。
作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

粉末

色

白色

臭い

無臭

融点/凝固点

情報なし

沸点又は初留点及び沸騰範囲

情報なし

可燃性

情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

情報なし

引火点

情報なし

自然発火点

情報なし

分解温度

情報なし

pH

4~7.5 (20g/L, 25℃)

動粘性率

情報なし

溶解度

水、エタノールにほとんど溶けない。温水に可溶。

n-オクタノール/水分分配係数

情報なし

蒸気圧

情報なし

密度及び/又は相対密度

情報なし

相対ガス密度

情報なし

粒子特性

情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性

情報なし

化学的安定性

通常の取り扱いに於て安定である。

危険有害反応可能性

空気中で粒子が細かく拡散して、爆発性の混合気体を生じる。

避けるべき条件

日光、高温、多湿

混触危険物質

強酸化剤

危険有害な分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性

情報なし

皮膚腐食性/刺激性

情報なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

情報なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

情報なし

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

情報なし

生殖毒性

情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

情報なし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

情報なし

誤えん有害性

情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性

情報なし

残留性・分解性
生体蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層への有害性

情報なし
情報なし
情報なし
当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品, 汚染容器及び包装の安全でかつ
環境上望ましい廃棄, 又はリサイクルに
関する情報

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
空容器の処理を依頼する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号
品名(国連輸送名)
国連分類
副次危険性
容器等級
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

該当しない

—
—
—
—

国内規制がある場合の規制情報
応急措置指針番号

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。
情報なし
—

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)
毒物及び劇物取締法
労働安全衛生法
消防法

該当しない
該当しない
該当しない
該当しない

16. その他の情報

参考文献

NITE-CHIRP(製品評価技術基盤機構HP)
17423の化学商品(化学工業日報社)
国際化学物質安全性カード(国立医薬品食品衛生研究所HP)
The Sigma-Aldrich Library of REGULATORY and Safety Data
The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II
Merck Index 14th.

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。